

はじめに

本書は、テストやアンケートを用いて学校評価を行ったり、実践的な指導の効果を確認したりする上で必要となるデータ収集や統計分析の方法を解説したものです。すでに教師として働いている方や教師を目指す学生の方はもちろん、実際に教育について実践的な研究を行っている研究者の方にも役立つよう、初歩的なデータの集計法から比較的高度な分析方法まで取り上げました。また、こうした多様な読者層を想定し、本書では可能な限り数式を排除して文章や図を用いた平易な説明を心がけ、データ収集のデザインや統計分析にかかわる本質的な問題をより直感的に把握できるよう工夫しました。さらに、学校現場において得られたデータをもとに仮説を検証したり、実践に関する提言を行う上で注意すべき点についても適宜解説を加えました。残念ながら、教育実践について実証的に検討しようとする場合、学術研究においてすらこうした問題がほとんど顧みられないのが現状です。本書を通じて、わが国の学校教育の発展に少しでも貢献できれば幸いです。

著者の所属先である上越教育大学で私の講義を受講された学生の皆さんには、本書のもととなった講義資料の内容について様々なご意見やご指摘をいただきました。また、共立出版の吉村修司さんと松原茂さんには、本書を出版するにあたり多大なるご尽力をいただきました。この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。

最後になりましたが、執筆を支えてくれた妻に感謝し本書を贈ります。

平成 24 年秋 著者